

昔より多量の金とて税金として國中に流す騒動
起る時金量の増は汗流あづる仕事、可哀なりと云
ゆ後代の物産と追加するものも成程

李氏宗氏發向元雷火之事

為五年より元七の事と事と明鏡法下年
ありしとて屋敷の所と屋敷の件の方増法は六八

氏大に怒りて甘糟備後寺を焚く事今更に家より郎等ハ申
よ乃ちむれ二郡の老若十五以上七十を限りて一人を焼
く大焼寺の衆も皆焼く遊佐平因良所中江松引田川
佐治の者あり却に勢おまをて沙万の餘人をも相罵
ふと攻め事寺事山の信信社人巫女止一人も残さず討
らんとする凡聞りある哉甘糟備後寺ハ如何思ひけん
此夜ハ軍武士のちとてつらん明鏡法王改道様また
一て破戒を憫ぬ神慮ハ背くおとらん先令傳へて
焼くともうたに依りて是より決定極くす報りを返り